

隠岐島木材業製材業協同組合の概要



～製材事業部（ウッドヒル隠岐）～

- 隠岐島内における製材工場を集約化し平成14年に稼働し、県内でも有数の施設・規模
- 試験研究機関と協力した黒松フローリングの商品化等を行い、近年島外・県外への製品出荷の取組を精力的に展開



西郷港ターミナル(H22)



竹島資料館(H27)



大阪での展示会(H28)



人工乾燥機(木くず吹き)

- 1 設立 昭和27年12月
- 2 所在等 隠岐の島町原田奥ノ原986-6
- 3 組織等 代表理事〔非常勤〕池田裕茂（(有)池田材木店会長）
専務理事〔常勤〕池田健三、理事（兼事務局長）磯見一弘
会員数 7社
〔(有)池田材木店、隠岐島後森林組合、(株)ふせの里、佐山の里企業組合、さんもく工業(株)隠岐営業所、若林製材所、文栄組〕
- 4 設備等 平成11年～13年にかけて主な施設整備を行い、平成14年から本格稼働、その後人工乾燥機等を順次導入
○敷地面積 12,700㎡
○建物面積 1,455.49㎡（うち工場 1,284.49㎡）
○主な設備・装備
〔 車輛台数 2台、皮剥機 1台、帯鋸盤 5台、チップパー 1台
木屑焚きボイラー 1台、木材乾燥機 4台、かな盤 1台
フォークリフト 4台
※平成28年度から、敷地内に小型木質バイオマス発電施設（実証用：隠岐グリーンパワー発電施設）を設置〔設置者：(株)藤井基礎設計〕
- 5 製品出荷状況 …〔取扱材割合：構造材50%、下地材30%、造作材10%、その他10%〕

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29(9月末)
出荷量(㎡)	2,251	2,643	2,354	2,159	1,806	957
うち島外	43	71	125	236	235	152

更新伐施業地の概要

1. 更新伐施業地の概要

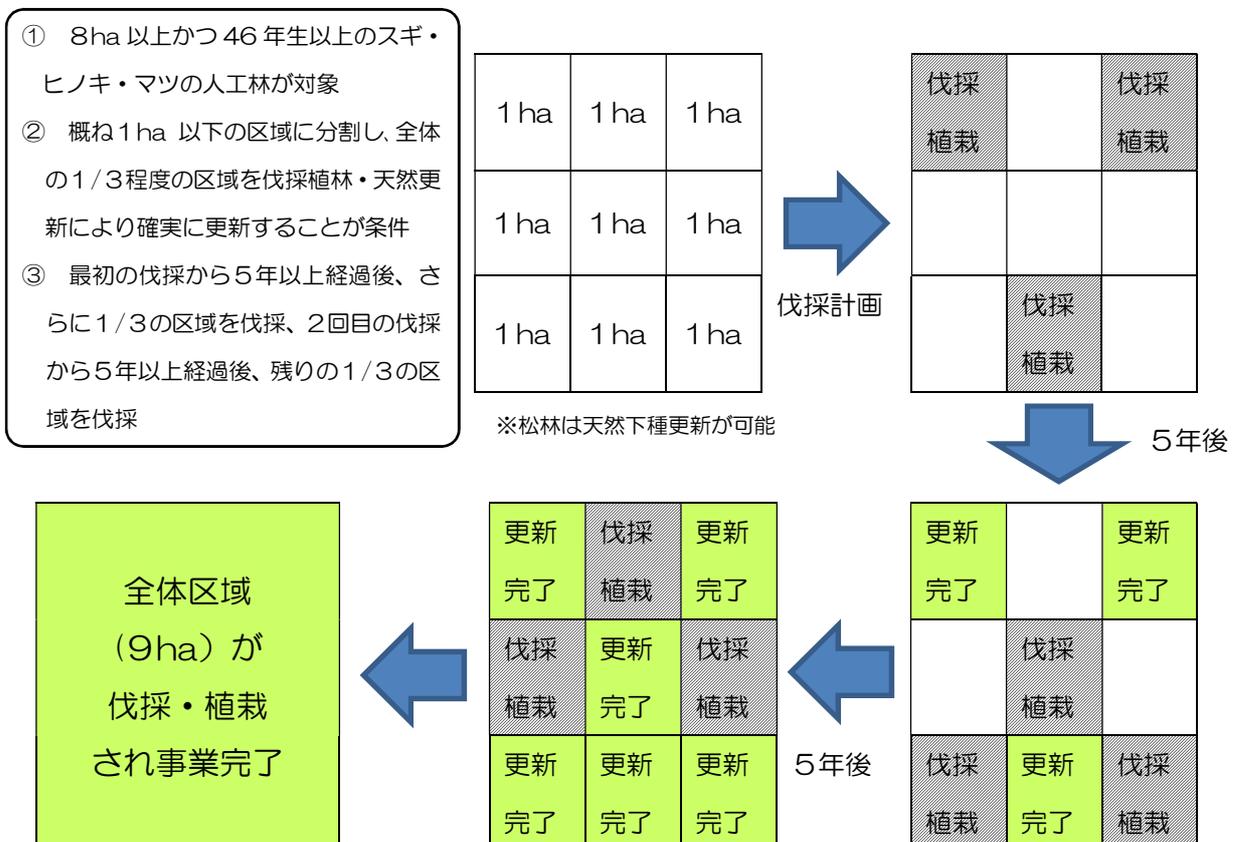
- (1) 施業場所 隠岐郡隠岐の島町伊後 1044-1 ほか
(林業公社事業地番号：49号)
- (2) 植栽年度 昭和41年～昭和43年 (49～51年生)
- (3) 施業内容 更新伐施業(モザイク林誘導型)

実施年度	区域面積(ha)	伐採面積(ha)	出材量(m ³)	備考(出材内訳)
H28	13.92	4.36	1,696	スギ：908 m ³ マツ：253 m ³ ハ材：535 m ³
H29	14.84	4.95	(1,650)	スギ：900 m ³ マツ：250 m ³ ハ材：500 m ³
計	28.76	9.31	(3,346)	

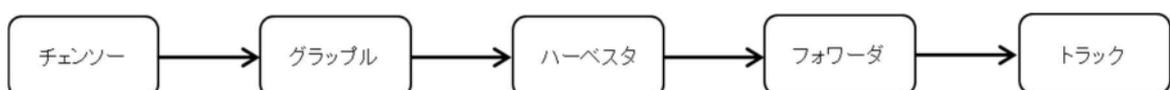
- (4) 実施事業体 有限会社 酒井材木店

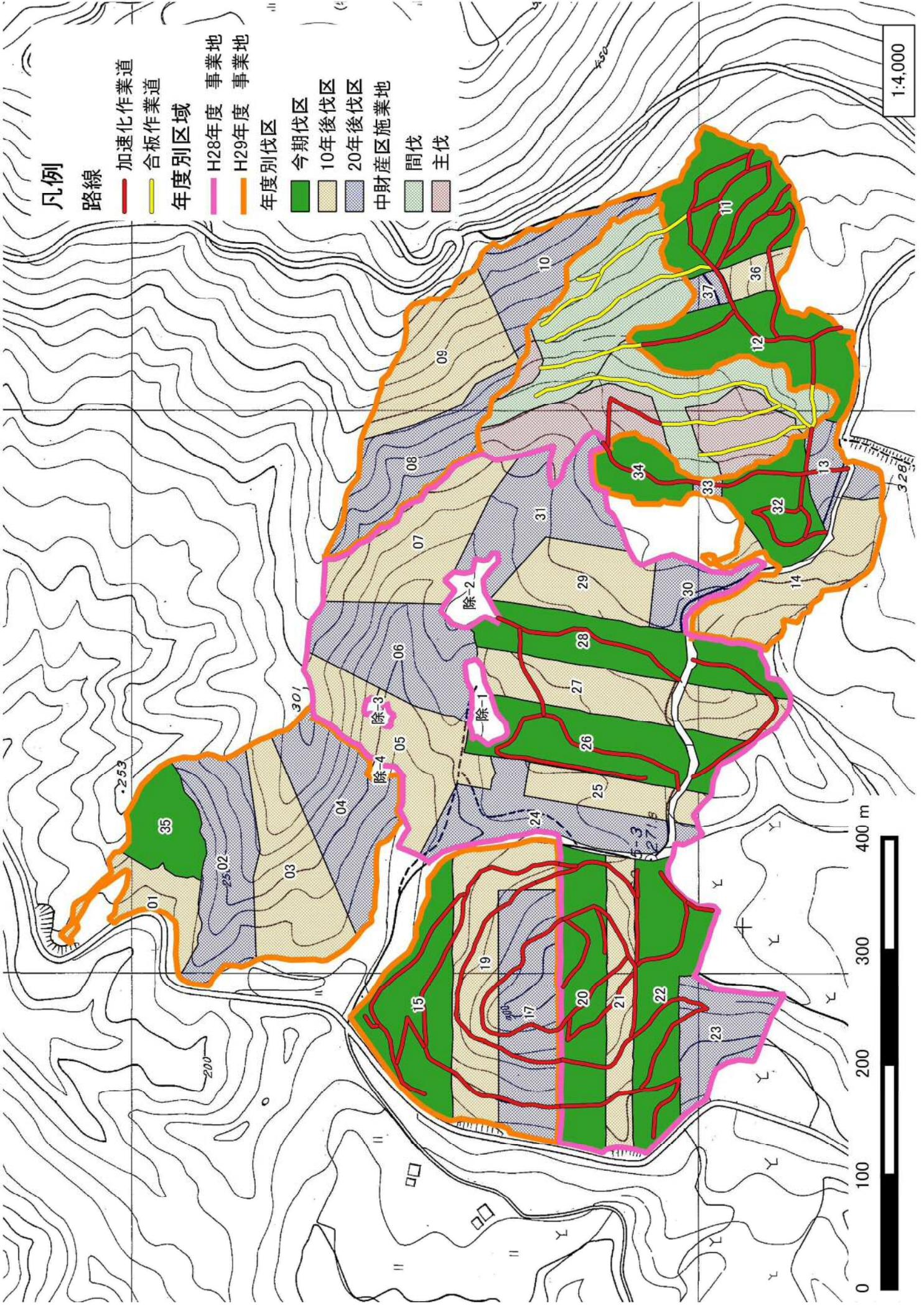
2. 更新伐施業

- (1) 施業イメージ(1施業地9haの場合の模式図)



- (2) 高性能林業機械作業システム





凡例

路線

- 加速化作業道
- 合板作業道

年度別伐区

- H28年度 事業地
- H29年度 事業地

年度別伐区

- 今期伐区
- 10年後伐区
- 20年後伐区

中財産区施業地

- 間伐
- 主伐

1:4,000

0 100 200 300 400 m



隠岐広域連合消防本部庁舎（木質内装化）

1. 施設の概要

- (1) 施設名 隠岐広域連合消防庁舎（新築）
（完成：平成27年3月27日）
- (2) 施設場所 隠岐郡隠岐の島町平440番地1
- (3) 事業主体 隠岐広域連合
- (4) 構造 RC造一部鉄骨造
3棟（庁舎棟、訓練主塔、訓練副塔）、地上5階
- (5) 面積 敷地：4,832.83㎡
延べ面積：1,943.92㎡（建築面積：1,168.49㎡）
- (6) 内装木質化 面積：360㎡（床、壁、天井等）
木材使用量：21㎡（うち隠岐産木材19㎡）
- (7) 建設事業費 378,932千円
（うち木質化に係る事業費30,348千円（補助金27,000千円））



2. 施設の特徴、工夫した点

- (1) 大会議室等を整備することにより、各種会議や町民向け講習等で活用できるようにした。
- (2) 女性消防職員の採用も想定し、女性用の更衣室や仮眠室を整備し、ベッド等も隠岐産材を使用した。
- (3) 内装木質化は、天井・壁には隠岐産のスギ（一部準不燃・難燃処理材を使用）、床には隠岐産クロマツを使用し、木の温かみのある設計とした。

3. 隠岐の島町で近年建設された隠岐産木材を使用した主な公共施設

【H28年度】ローソク島遊覧船待合所、油井集会所、裁判所

【H27年度】竹島資料館、隠岐病院内保育施設、隠岐自然保護官事務所

吉崎工務店（原木しいたけ生産）

平成18年度、伐採時期を迎えても放置されていたクヌギ人工林資源の有効活用に着目し、地域林業の活性化及び地域経済の発展、雇用の維持・創出のため、建設業者である（株）吉崎工務店が「原木しいたけ生産」へ参入。

1. 施設の概要

- (1) 施設場所 隠岐郡隠岐の島町東郷亀尻5-1
- (2) 生産品目 原木しいたけ（ビニールハウス栽培）
- (3) 生産規模 ほど木 30,000本/年植菌
 (H28) 生産量 27.5t(生：14.5t、乾：1.9t)
- (4) 主要施設 ビニールハウス3棟（稼働）
 芽出室、仕分け施設
 穴あけ機、乾燥機、保冷库
 給水施設（井戸、浸水層、受水槽）
 給湯施設（薪炊きボイラー、給湯配管）



2. 経営の概要

- (1) 従業員等 常時雇用 8名 臨時雇用 5名（植菌時のみ）
- (2) 販売額 26.4百万円（H28年度）
- (3) 主な販路

	関東	関西・県内・島内
生しいたけ	紀ノ国屋（東京） 日本橋しまね館（東京） エコピア（千葉） こだわり屋（関東一円）	いかりスーパー（大阪） 志なの亭グループ（大阪） ラパン、みしまや（松江） あんき市場 外商店（隠岐）
乾しいたけ	こだわり屋（関東一円） 外	一福伊丹店（大阪） 外

(4) 取り組みの特徴

- ☆農業ビジネスを通じて地域経済を活性化
- ☆ビニールハウスによる周年栽培
- ☆島内産のクヌギを活用した安心・安全な原木しいたけ栽培
- ☆平成22年度に「美味しまね認証」を取得（H30年3月に更新予定）

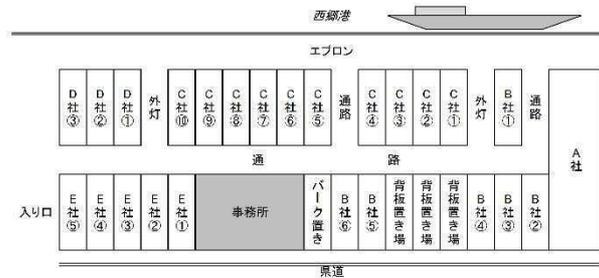


西郷港小田土場の概要

1. 西郷港小田地区の概要

西郷港は天然の良港として、古来から沿岸漁業の基地や日本海航行の帆船寄港地として利用され、明治18年に開設された隠岐航路の基地として発展。

また、隠岐圏の物流拠点として経済・文化の中心を担い、定期貨物船の発着、さらには、荒天時の船舶の避難等にも利用される、隠岐島後の海の玄関口として極めて重要な役割を果たしている。



2. 小田港を利用した木材取扱量の推移

小田地区は、木材専用埠頭として、昭和43から45年度に整備が行われ、現在約0.4haの野積み場が整備されている。

*小田港の利用は、隠岐島木材業製材業協同組合が県と契約し使用している

*土場には、フォークリフト2台(うち1台は活性化センター)

○隠岐地域の木材生産量と島外出荷量の推移(単位: m³)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
木材生産量	9,054	10,462	12,581	10,547	14,969	16,788	18,973
うち島外出荷量	3,908	5,251	6,139	4,083	7,296	10,666	12,978

